

札幌市「持続可能な雪対策の実現に向けたアンケート」調査票

札幌市では、人口減少による担い手不足や財政の見通しを踏まえながら市民サービスを維持・向上していくため、さまざまな観点から対策の検討を進めています。

中でも雪対策については、除雪従事者の担い手不足や高年齢化、物価高騰等による雪対策費用の増加等の課題を抱えていることから、この重要な課題を行政だけで判断するのではなく、市民の皆さん一人ひとりと一緒に考えていくために、この度のアンケートを実施します。調査票2ページで紹介している資料(※)の内容を必ずご覧いただいた上で、これからの雪との向き合い方について、ぜひお聞かせください。

ご回答いただいた内容は、今後の市民ワークショップや、有識者などによる審議会における基礎資料にも活用し、よりよい札幌の冬を一緒に考える材料として大切に使用させていただきます。ご協力、どうぞよろしくお願い申し上げます。

※2ページの資料は、広報さっぽろ令和7年5月号「みんなで考える、雪対策の未来」の掲載内容をまとめたものです。また、本アンケートは、広報さっぽろでご案内しているアンケートと同様の内容ですが、調査票が届いた方の回答率も集計する必要があるため、より多くの皆様からご回答をいただきたく、お手数ですが、ご協力をいただけますと幸いです。

● 記入の方法

ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでも構いません。

ご回答は、当てはまる番号に○印をつけるか、具体的な内容をご記入ください。

● 3千人の選び方

市民の皆さまから、無作為抽出法(くじ引きのような方法)で選ばせていただきました。

● プライバシーの保護について

この調査は、皆さまから無記名でご回答いただくものであり、個人的な内容が明らかになることは決してございません。

また、調査をお願いした方の名簿は、この調査以外には使用いたしません。

● 調査票の回答方法

アンケート調査票にご記入のうえ、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、**無記名のまま切手を貼らずに令和7年6月13日(金)までに、郵便ポストに投函してください。**

なお、このアンケートは、**ウェブフォームにてご回答いただくことも可能です。**

ウェブでの回答の方は下記URLまたは二次元バーコードからアクセスし、期限までにご回答ください。

※ 郵送回答またはウェブ回答のどちらかの方法でご回答ください。

URL:<https://forms.gle/ABEGjp2KEpAXLa2f9>

【ウェブでの回答はこちら】



この調査票での回答の方は、
3ページからアンケートが始まります
※2ページも必ずご覧ください

雪対策の現状と、課題の解決に向けて取り組んでいくことを紹介します

札幌市の人口減少

札幌市は2021年から人口減少が始まり、2060年には現在よりも38万人ほど人口が減少する見込みです。経済活動を支える15～64歳の人口減少が著しく、少子高齢化もより進むことが予想され、税収の減少や働き手の不足など、さまざまな影響が懸念されます。

【札幌市の人口の見通し】

	2025年	2040年	2060年
全体	約197万人	約185万人	約159万人
15～64歳	約119万人	約102万人	約81万人
65歳以上	約58万人	約67万人	約65万人



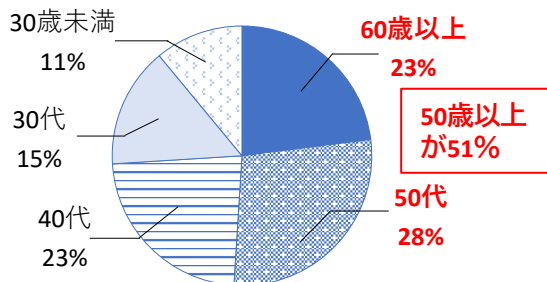
人口が減少する中でも、現在の規模を維持しなければならない市の公共サービスがあり、さまざまな分野に影響が出ることが予想されます。また、高齢者の人口が増えることで、介護サービスをはじめとする高齢福祉の費用のさらなる増加も見込まれます。

雪対策における課題

■従事者の担い手不足、高齢化

従事者のうち、50歳以上の割合が50%を超えており、20年後には多くが退職を迎えます。

【除雪従事者の年齢構成】

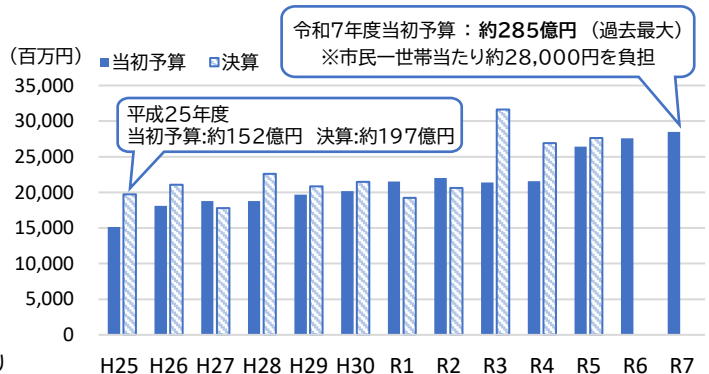


※令和4年度に実施した除雪従事者へのアンケートより

■雪対策費用の増加

税収の減少が見込まれる中、物価や燃料費の高騰などにより、年々増加しています。

【平成25年度からの費用の推移】



雪対策の課題は他にも...

■パートナーシップ排雪

住宅街などに面する生活道路の排雪費用を地域と行政が負担し合っていますが、地域での費用の負担感や不公平感が高まっています。

雪対策の今後の在り方の検討について

今後の雪対策の在り方について、この度のアンケートのほか、市民ワークショップや有識者などによる審議会などを通じて、市民の皆さんと一緒に考えていきます。

【検討する主な内容】

■除排雪の今後の在り方

- ・冬の生活や経済活動に支障が出ないような道路の通行幅や路面の状態を今後も確保していくための除排雪の方法や体制
- ・将来的に税収の減少が見込まれる中で、年々増加している雪対策費用の負担をどうしていくべきか

■雪と共生していくために

- ・人材や機材が限られた中で冬を快適に暮らせるようにするためには、行政、事業者、市民がそれぞれどのような役割を担っていくべきか
- ・大雪時には外出しない、在宅勤務をするといった、札幌ならではの冬の暮らし方や働き方

問1 現在の札幌市の冬期道路環境(通行幅と路面状況)について、どのように感じますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|----------|----------|--------------|
| 1. 非常に不満 | 2. 不満 | 3. どちらとも言えない |
| 4. 満足 | 5. 非常に満足 | 6. わからない |

問2 冬の暮らしにおけるお困りごとは何ですか。

下記の選択肢から、あてはまるものの番号をご記入ください。

- ①1番困っていること ()
②2番目に困っていること ()
③3番目に困っていること ()

- | |
|--|
| 1. 通勤(仕事での移動も含む)・通学
2. 買い物・病院・レジャーなどの移動
3. 道路や交差点の見通しが悪い
4. 雪かきの身体的負担
5. 積もった雪を捨てる場所がない
6. 自宅以外で過ごす場所が少ない
7. 光熱費
8. その他(具体的に: _____)
9. 特にない |
|--|

問3 札幌市の雪対策において強化してほしい取組は何ですか。

下記の選択肢から、あてはまるものの番号をご記入ください。

- ①1番強化してほしい取組 ()
②2番目に強化してほしい取組 ()
③3番目に強化してほしい取組 ()

- | |
|---|
| 1. 幹線やバス路線の除排雪
2. 地下鉄・JR周辺の除排雪
3. 歩道の除排雪
4. 生活道路(住宅街の道路)の除排雪
5. つるつる路面对策
6. 冬の暮らしに役立つ情報発信
7. 地域の雪捨て場の確保
8. 冬の暮らし方・働き方の行動変容の促進(大雪時の外出抑制・在宅勤務促進など)
9. その他(具体的に: _____)
10. わからない |
|---|

問4 人口減少による影響で社会全体の将来的な担い手不足が懸念されていますが、除排雪作業の担い手不足に備えて、どのような対策が重要だと思いますか。

下記の選択肢から、あてはまるものの番号をご記入ください。

①1番重要だと思う対策 ()

②2番目に重要だと思う対策 ()

③3番目に重要だと思う対策 ()

1. 除雪機械の自動運転などの技術革新の推進
2. 作業効率向上のための設備投資(雪堆積場の増設など)
3. 地域や市民の協力体制への支援(除雪機の貸し出し・除雪ボランティアなど)
4. 冬の暮らし方・働き方の行動変容の促進(大雪時の外出抑制・在宅勤務促進など)
5. 人口規模にあわせた街の規模の縮小
6. その他(具体的に: _____)
7. わからない

問5 札幌市の雪対策費用は、令和7年度の当初予算で約285億円です。これだけの費用がかかっていることを広報さっぽろや今回のアンケートの情報を読む前からご存じでしたか。あてはまるものに 1 つだけ○をつけてください。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問6 札幌市の雪対策費用が年々増えてきていることを広報さっぽろや今回のアンケートの情報を読む前からご存じでしたか。あてはまるものに 1 つだけ○をつけてください。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問7 雪国札幌の冬で生活するために市民一人ひとりが持つべき視点や心構えについてあなたの意見に最も近いものは何ですか。あてはまるものに 1 つだけ○をつけてください。

1. 雪国で暮らしていることを踏まえ、雪の影響による冬の生活の不便さや不自由さをもっと許容・受忍すべき
2. 1と3の間
3. 現状レベルの冬の生活を維持するため、行政と市民で協働しながらできる範囲内の雪対策に取り組めば十分
4. 3と5の間
5. より快適な冬の生活を実現するため、行政のみに頼らず、市民一人ひとりが家の前の雪かき、砂まきを行うなど、積極的に雪対策に取り組むべき

問8 札幌市の雪対策について、ご意見・ご要望があればご自由にお書きください。

(回答欄)

問9 最後にあなたご自身のことについてお尋ねします。

あてはまるものに○をつけてください。

○ あなたの年齢は

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 18 歳未満 | 2. 18～19 歳 | 3. 20～29 歳 | 4. 30～39 歳 |
| 5. 40～49 歳 | 6. 50～59 歳 | 7. 60～69 歳 | 8. 70～74 歳 |
| 9. 75 歳以上 | | | |

○ あなたの性別は

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

○ あなたは現在何区にお住まいですか

- | | | | | |
|--------|--------|-------|--------|---------|
| 1. 中央区 | 2. 北区 | 3. 東区 | 4. 白石区 | 5. 厚別区 |
| 6. 豊平区 | 7. 清田区 | 8. 南区 | 9. 西区 | 10. 手稲区 |
| 11. 市外 | | | | |

○ あなたのご職業は(もっとも近いもの1つに○をつけてください)

- | | | | |
|----------|--------|--------|--------------|
| 1. 会社員 | 2. 公務員 | 3. 自営業 | 4. パート・アルバイト |
| 5. 主婦・主夫 | 6. 学生 | 7. 無職 | 8. その他 |

○ 居住形態は

- | | | |
|-------------------|---------------|-------------|
| 1. 持ち家(一戸建て) | 2. 持ち家(マンション) | 3. 賃貸(一戸建て) |
| 4. 賃貸(マンション・アパート) | 5. その他(具体的に: |) |

(次のページに続きます)

○ 自家用車の利用について

1. 有 2. 無 3. レンタカー・カーシェアリング等をよく利用
4. その他(具体的に:)

○ 冬の主な交通手段は(利用頻度の高いものを3つまで○をつけてください)

1. 車 2. 地下鉄 3. バス 4. JR 5. 市電 6. 徒歩
7. その他(具体的に:) 8. 特にない

○ あなたは、普段市政に対して意見を言うことはありますか。

1. 全く言ったことがない
2. ほとんど言ったことがない
3. どちらとも言えない
4. 時々言っている
5. 頻繁に言っている

○ 本アンケートに回答しようと思った理由(きっかけ)は何ですか。

(あなたの考えに近いものを2つまで○をつけてください)

1. 雪対策に日頃から関心を持っているから
2. 自分や家族の生活に関わるテーマだと思ったから
3. 雪対策の課題を知って興味を持ったから
4. 時間に余裕があったから
5. 回答にそれほど手間がかからないから
6. 自分の意見を市に伝える機会が普段はないから
7. その他(具体的に:)

○ 広報さっぽろ令和7年5月号「みんなで考える、雪対策の未来」の記事を読みましたか。

1. 読んだ 2. 読んでいない

○ 広報さっぽろや本アンケートに記載の情報等を読んで、あなたの雪対策に関する考え方に
変化はありましたか。

1. 全くなかった
2. あまりなかった
3. どちらとも言えない
4. あった
5. 大いにあった

(次のページに続きます)

○ 札幌市公式 LINE アカウント上で、令和7年3月29日～4月12日に雪に関するアンケートを実施したことを知っていますか。

1. 知っていて、回答した
2. 知っていたが、回答していない
3. 知らなかった

○ 広報さっぽろ5月号で、雪に関するアンケートをご案内していることを知っていますか。

1. 知っていて、すでに回答した
2. 知っていたが、まだ回答していない
3. 知らない

調査は以上で終了です。ご多用の折、ご協力いただいたことに感謝申し上げます。
記入されました調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らずに令和7年6月13日(金)までに、郵便ポストへ投函してください。

※本調査に関する問い合わせは下記のとおりですが、調査票の配布・回収は、札幌市市民文化局市民自治推進課で行っており、返信用封筒の宛先は市民自治推進課となっております。

【本調査に関する問い合わせ】

連絡先:札幌市 まちづくり政策局 政策企画部

未来創生担当課 人口減少対策担当

住 所:〒060-8611

札幌市中央区北1条西2丁目 市役所本庁舎5階

電 話:011-211-2338